

【講義の目次】

目次



0	自己紹介	5 分
1	データサイエンス概要	20 分
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ データサイエンスと社会のつながり ✓ データ分析のキモ「仮説」 ✓ データ分析で使う数学 	
2	データ分析演習	60 分
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 個人ワーク&グループディスカッション ✓ 発表と講評 ✓ 実際の業務で出した答え 	
3	データサイエンス・データ分析の仕事	10 分

【講義に参加した嵯峨野高校 1 年生の声（一部抜粋）】

Q1. 「データサイエンス」や「データ分析」に対するイメージの変化を教えてください。

講義前	講義後
科学的なデータを扱う。 仕事にしている人しか触れる機会がない。	広告など、身近な場面でも使われている。 授業でもしているような複数のデータの比較も、データサイエンス。
数学や統計学を使った少し高校 1 年生では理解しにくい部分があって難しそうだなというイメージでした。	集められたたくさんのデータを色々な観点から見て結論を出すのはとても面白かったし、ディスカッションをすることで違う意見も聞けて考えることができたので思考力が鍛えられる楽しいものだなというイメージになりました。

<p>データを読み取ってわかったことを書けばいいだけのもの。</p>	<p>データを読み取ることで、間違っ読み取ってしまったら、その後の活動に影響を及ぼすことがわかった。 読み取ることにも注意力が必要だというイメージに変わった。</p>
<p>難しそうであり自分には関係がない数学や理科系だと思っていた。</p>	<p>今回の講義では今まで難しいと思っていたデータサイエンスについてわかりやすく説明してもらい、データの読み取り方がわかった。</p>

Q2. 今回の講義を受けて、「働くこと」や「仕事」に対して、どのような印象を持ちましたか？

- 最近文理選択で文系、理系と分けて仕事や今後について考えることが多かったけど、今回のデータサイエンスについて学ぶ中で、文理問わずさまざまな考え方を必要とされる仕事は世の中に多くあって、自分は文系だから、理系だから、と視野を狭めるのではなく文理横断的な、より幅広い視点をもって今後を生きていきたいなと思った。
- 元々は、一旦職業に就いたらそこから一本道のような感じがしていたのですが、自分のやりたいことが変わった時やもっと他に好きなことがあると思った時は、努力すれば転職できるし方向転換もできるということを知り、仕事に対してよりポジティブな印象を持つことができました。
- お金を稼ぐためだけでなく、人の役に立つ実感をもつことも仕事をする理由だとわかった。

【嵯峨野高校先生方の声（一部抜粋）】

Q. 今回の講義への満足度を教えてください。

満足できました。こちらのニーズに応じていただき、数学の統計的な話と、問いや仮説を立てて検証していく探究の話を入れていただき、ありがとうございました。
演習中心で生徒が活発に議論しながら進めていただいたのもよかったです。

特に、生徒それぞれが自分の視点で問いに取り組んでいたことやデータに対して批判的思考ができていたこと、そしてこちらの予想を超えるような発言があったことは印象的でした。

高校生がマーケティングという仕事について知る機会はなく、キャリア教育としても貴重な機会となりました。

【講義で講師を担当した QO 社員の声】

講義では、こちらの模範解答を押し付けるのではなく、様々なデータの解釈や考え方を検討するプロセスや、わかりやすく伝えることの重要性を学んでほしいと考えながら進めました。

テーマが高校生には難しい印象で、興味を持ってもらえるか不安もありましたが、実際にはグループワークに熱心に取り組み、大勢の中で発表や質問をする生徒の皆さんの活発な姿がみられ、充実した時間になったと思います。

私たちの講義が今後の探究学習の足掛かりや、生徒の将来を考える上での選択肢になることを目指し、今後も取り組みを続けていきたいと思っています。